

SSH 全国生徒研究発表に参加して

- ◇日 時:8月6日(水)～7日(木)
- ◇場 所:神戸国際展示場
- ◇参加者:本校理数科学科生徒3名
- ◇引 率:山下卓弥先生(本校化学科)

全国生徒研究発表会では、全国から集まった代表団生徒が、SS 部の活動や探究活動で行った研究の成果を発表した。

開催日の前日には、事前にポスターを貼りに会場に出向き、研究の流れや結果の解釈について、改めて班のメンバーと確認した。

1 日目は、学校ごとにブースに分かれ、来場者や他の代表校の生徒、先生に向けて、ポスター発表を行った。自分たちだけでは思いつかなかった新しい視点からのアイデアやご指摘をいただいたり、面白い研究だね、と感想をいただいたりして、研究に対する理解がより一層深まると共に、豊かな探究心を持った全国の仲間と、学問そのものへの関心もより高めることができたように思う。また、自分たちも他校の発表を聞き、地域に根差した問題の解決を目指した研究や、数年間もの長期間にわたって行われた研究など、県内だけでは見られないような多様な研究を知ることができた。

2 日目は全体発表として、化学分野、物理分野など、各分野から 2 校ずつ選ばれた代表校による研究発表が行われた。誰もが経験したことのあるような身近な現象をテーマにした研究や、社会的な問題の解決に繋がる実用的な研究など、多種多様な研究の成果が発表された。どれも研究対象への愛に裏打ちされた、「熱い」研究ばかりで、私たち自身も大いに刺激を受けた。また、全日程を通して、レベルの高い研究を行う同世代の仲間の姿や、活気あふれる会場の雰囲気感に感化され、良い影響をもらうことができた。今後どのようなことを学び、研究するにしても、今回得た経験が糧となるだろうと思う。

